

## 看護理論

単位数：2単位

○福間 美紀：基礎看護学講座准教授

津本 優子：基礎看護学講座教授

### 1. 科目の教育方針

実践の科学である看護学の基礎をつくるものは理論である。看護現象を説明し理論を生成すること、理論を実践に活用してその妥当性を検証すること、この繰り返しによって看護は看護学として発展し、社会の健康ニーズに応え得る質の高い看護を展開することができる。CNSをはじめとする大学院修了者には、高度看護実践者として、理論に基づいた専門性の高い看護を実践することによって、看護の成果を社会の人々や保健医療チームのメンバーに示し、看護の発展に寄与することが期待されている。

本科目では、看護理論に関する基本的知識、および看護実践への理論の活用方法とその効果の評価方法について学習し、理論と実践の融合した質の高い看護サービスを提供するために必要な論理的思考力と実践力を高める。

### 2. 教育目標

- 1) 看護理論開発の歴史を概観し、これからの看護理論の発達に対する見識を深める。
- 2) 看護理論家の著書を講読し、理論の分析を行って看護理論の構造や特徴を理解する。
- 3) どのような対象者にどのような場面や状況下で看護理論を適用させるのか、事例をとおして看護理論の看護実践への活用方法を検討する。
- 4) 看護実践における理論活用の意義と理論開発の必要性を考察する。

### 3. 教育の方法、進め方、評価等

#### 【方法と進め方】

- 1) 看護理論への理解を深めるために、講義、看護理論講読、事例演習を行う。
- 2) 理論分析は、看護哲学、広範囲理論、中範囲理論に関する看護理論の著書の中から各自が1冊を選択して講読し、レポートの作成、発表、グループ・ディスカッションを行う。(ウィーデンバック、ペプロウ、ロジャーズ、オレム、トラベルビー、レイニンガー、ロイ、ニューマン、ベナーのうち1つを選択する)
- 3) 看護理論活用の実際は、各自の専門領域に応じて関心を寄せる看護の理論を選択して看護実践に活用し、その成果について発表とディスカッションを行う。

#### 【評価】

プレゼンテーション、レポート等により総合的に評価する。

### 4. 使用テキスト

- 1) 筒井真由美編集：看護理論家の業績と理論評価，医学書院，2015
- 2) 正木治恵他：看護理論の活用-看護実践の問題解決のために，医歯薬出版，2012
- 3) ヘンダーソン著：看護の基本となるもの，日本看護協会出版会，2007

<参考文献等> \*その他の図書・文献は授業で紹介する。

筒井真優美編集：看護理論，看護理論 20 の理解と実践への応用，南江堂，2008

松木光子他編集：看護理論，理論と実践のリンケージ，ヌーヴェルヒロカワ，2006

## 5. 教育内容

回	月/日	内 容	講師
1	4/9	理論の定義・目的、理論の種類、現象を説明する範囲 理論開発のプロセス、理論と実践との関連性	福間
2	4/16	看護理論の発展の歴史、看護理論の意義・貢献	福間
3	4/23	看護理論の構造、要素となる主要概念、理論分析の方法	福間
4	5/7	理論分析 1 看護理論の構造と特徴、理論と実践との関連性	福間
5	5/14	理論分析 2 看護理論の構造と特徴、理論と実践との関連性	福間
6	5/21	理論分析 3 看護理論の構造と特徴、理論と実践との関連性	福間
7	5/28	理論分析 4 看護理論の構造と特徴、理論と実践との関連性	福間
8	6/4	理論分析 5 看護理論の構造と特徴、理論と実践との関連性	福間
9	6/11	理論分析 6 看護理論の構造と特徴、理論と実践との関連性	福間
10	6/18	看護理論の構築と活用の必要性	福間
11	6/25	看護理論の実践への活用方法	福間
12	7/2	事例演習 1 看護理論の実践への活用と展開	福間 津本
13	7/9	事例演習 2 看護理論の実践への活用と展開	
14	7/16	事例演習 3 看護理論の実践への活用と展開	
15	7/23	事例演習 4 看護理論の実践への活用と展開	